

平成30年度 田原西小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

- ・基本目標・・・児童一人一人の特性や能力を最大限に伸ばし、心身共に健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。
- ・具体目標・・・子どもスローガン「いきいき にこにこ がんばる子」
- ・健康で明るい子 ・思いやりのある子 ・自ら考える子 ・がんばりぬく子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元氣なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり」
子どものよりよい成長のためには、教職員、保護者・地域住民の関わりが重要であり、3つの視点からテーマを設定した。そして、日々の生活にあいさつが響き、明るく活気のある学校、子ども一人ひとりが生き生きと学び、子どもが育つ学校、楽しく安心して生活でき、保護者・地域住民から信頼される学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）心豊かに、他者と協働しながら創造的かつたくましく生きていくことをめざし、子ども一人一人が未来の創り手となれるような必要な資質や能力、学力の向上に努める。
- （2）社会的規範の中で、基本的な生活習慣や健康で安全な生活を身につけ、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。
- （3）○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、愛情と信頼、創意と工夫による教育活動を推進するとともに、適正な勤務時間となるよう業務の効率化に努める。
- （4）○「宇都宮市学校教育推進計画」の理念や趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践し、心豊かな児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- （5）社会に開かれた教育課程の実現のため、家庭や地域社会との連携・融合を図り、相互に補完し合いながら地域に根ざした教育活動の推進に努める。
- （6）施設・設備の効果的な活用に努め、学習に働きかける環境構成のより一層の充実を図るとともに、安全な学校を目指し、危機管理を徹底する。

【田原地域学校園教育ビジョン】
自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】
元氣なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり
- 【学 習 指 導】
学ぶ喜びを知り、自ら考える子の育成を目指した学習指導法の改善
- 【児 童 生 徒 指 導】
○元気に生き生きと生活し、進んで明るいあいさつができ、思いやりをもって行動できる児童の育成
- 【健康（体力・保健・食・安全）】
○自分の体に関心を持ち、進んで健康づくりに取り組む児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 一人一人の児童が学級で存在感を実感できるように、児童の建設的な自己決定ができる場を設け、自主的・自律的に取り組むよう支援する。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答が 88.0%であり、目標数値に達成している。 【次年度の方針】 - 今年度同様に児童主体が自己決定し活躍できる場を多く設け、自主的・自律的に活動できるよう支援する。 - 各活動の振り返りの場において、児童のよさを認め称賛する。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生は熱心に指導してくれる」⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上	① 教員は、一人一授業や研究授業において互いの授業を見合い、成果や課題を共有し、さらなる学校課題の解決のために、指導方法の工夫をする。家庭学習の習慣づけを図る。 ② 今年度も「家庭学習強化週間」を設け、家庭の協力を得ながら、児童の学力向上と学習習慣の形成を図る。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答が 98.0%、保護者は 91.5%であり、十分に目標数値に達成している。 【次年度の方針】 - 今年度同様に、学力向上と学習習慣の形成や児童指導上の課題に向けて、実態分析や課題の共有を教職員全員で行い、学校全体で共通理解のもと課題解決を図る。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している。」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 廊下の歩行、チャイム着席を含む時間の厳守を重点課題とし、秩序と安全の大切さについて、根気強く指導する。 ② 教職員による生活当番が、朝会などで、規範意識が高まるように、児童に指導をする。	B	【達成状況】 - 教職員の肯定的回答が 91.7%だったが、保護者・地域住民・児童の肯定的回答が下がっている。 【次年度の方針】 「よい子のきまり」の指導の徹底を継続するとともに、児童に自分は「よい子のきまり」を守れているか、振り返る機会を設ける。
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「分かりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 各教科において、基礎・基本の定着を図るとともに活用する力も育めるよう、指導方法の工夫改善に努める。 ② 算数科における T T、少人数、習熟度別等の学習形態を工夫し、分かる授業を展開する。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 95.6%と昨年度を上回り、目標値に達した。 【次年度の方針】 - 単元のねらいや児童の実態に合わせ、学習形態を見極め柔軟に対応してきた。また、学力向上応援事業を活用し、指導方法を工夫した。今後も、「分かる」授業を展開していく。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート A 5 ⇒保護者の肯定回答 80%以上	① いじめゼロ集会を保護者会や地域に公開し、地域ぐるみでいじめを根絶しようとする意識を高める。 ② 学年、学級等でいじめ根絶に関する学習を行い、その取組について、学校だよりや学年だより、ホームページ等で公表する。	B	【達成状況】 - 保護者の肯定的回答は、78.2%と昨年度との比較で、7.4%向上した。また、児童の肯定的回答は 98%と高い水準にある。 【次年度の方針】 - 今年度拡充した「いじめゼロの歌」の取り組みを次年度も継続して取り組む。

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている。」⇒保護者・教職員の肯定的回答 85%以上	① 学校行事等について、教職員に事後アンケートを行い、改善点について検討し次年度に生かす。 ② 授業参観時に保護者や地域の感想を募り、次年度に生かす。	B 【達成状況】 ・教職員・保護者はともに95%以上であり、目標数値は十分達成できている。 【次年度の方針】 ・年間の授業時数を確実に確保するために、夏季休業中の授業実施や土曜授業、日課の柔軟な運用を行う。 ・今年度同様に、学校行事ごとに評価を実施し、改善を図る。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 年3回の授業参観や学校公開日を設ける他に、音楽集会への自由参観、HPでの情報発信など、開かれた学校づくりに努める。 ② 学校便り、学年便り、その他各種便りを積極的に発行し、保護者や地域協議会の方に取組を知らせる。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は96.7%と高い評価を得ている。 【次年度の方針】 ・今後も、積極的な情報発信を行い、保護者や地域の方に学校教育の取組への理解を広める。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 「魅力ある学校づくり地域協議会」の取組を様々な機会を捉えて情報発信し、学校教育への理解を広める。 ② 家庭・地域の人的・物的資源を積極的に授業に取り入れ、実施したことを発信していく。	B 【達成状況】 ・保護者、地域住民ともに85%以上であり、目標数値は十分達成できている。 【次年度の方針】 ・今後も、家庭・地域・企業等との連携した授業を計画的に実施し、その成果について児童と振り返り、確認するとともに、広く情報発信する。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 児童の学習意欲を高め、理解を深めるための、視覚的・言語的環境を整える。 ② 学習内容に合った教材・教具を充実し、活用しやすい保管の仕方を工夫し、学習活動を円滑にする。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答が95.8%と非常に高く、目標値に十分達した。 【次年度の方針】 ・今後も、学校内の環境を整えていく。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 4年以上の児童の肯定的回答 80%以上 4年以上の保護者の肯定的回答 80%以上	① 小中乗り入れ授業や田原中学生徒会の協力による「あいさつ運動」「お弁当の日」など小中交流事業について、掲示物や学年だより、メール等で地域や保護者に知らせる。	B 【達成状況】 ・児童、保護者ともに80%以上であり、目標数値は達成できている。 【次年度の方針】 ・今後も、例年実施している様々な小中交流事業について、その成果を児童や保護者に、掲示物や学年だより、HP等で情報を発信していく。

教育活動の状況	B1 危機管理への対応に努め 児童の安全を確保する。 【数値指標】 独自アンケート「学校は避難訓練・防犯指導を通して、危機管理への対応に努めている。」 保護者・地域住民の肯定的回答85%以上		① 避難訓練・不審者対応の訓練(年4回)・引き渡し訓練・防犯指導を通して、児童が危機認識をもち、安全に退避できる態度を育てる。 ② 引き渡し訓練において、保護者の危機管理認識を高めるための周知を行う。	B	【達成状況】 ・教職員・地域住民は100%、保護者・児童はともに95%以上であり、目標数値は十分達成できている。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続し、今後も危機管理への対応に努める。
	生活	A13 児童は、進んであいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上	① 児童会で継続する「あいさつサポーター」制度や、PTAや地域と連携を図ったあいさつ運動を推進し、その様子をPTA広報誌に掲載してもらい啓発を進める。 ② 家庭や地域でも進んであいさつができるよう、保護者の意識を高めたり協力を得たりできるような啓発の仕方を工夫する。	A	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は49.6%、教職員の今日の回答は87.5%と、差が見られる。 【次年度の方針】 ・今後も、家庭や地域・学校園との連携を図り、啓発を促進するとともに、PTAや地域協議会との取り組みを、継続して学校HPなどで知らせる活動をする。 ・年間を通して学校の重点課題に掲げ、児童への意識付けを図っていく。
		A14 児童は、正しい言葉づかいをしている 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉遣いをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上	① 低学年から敬語を使うよう働き掛け、日々の生活や授業の中で、丁寧な言葉遣いが当たり前になるよう積極的に指導する。 ② 学校での言葉遣いに関する取り組みを様々な機会で見守るに知らせるとともに、家庭での協力を呼びかける。	A	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は55.4%、教職員の肯定的回答は83.3%となった。 【次年度の方針】 ・生活目標に言葉遣いに関する目標を取り入れ、児童が年間を通して言葉遣いを意識して生活するように呼び掛ける。 ・あいさつと同様、年間を通して学校の重点課題に掲げ、朝会等で折に触れて指導したり、職員が同じ歩調で取り組んでいけるよう、話し合ったりする。
		B2 全校児童が仲良く元気に生活する。 【数値指標】 独自アンケートの「自分は、休み時間に友達と仲良く元気にあそんでいる」⇒児童の肯定的回答85%以上	① はつらつタイムや昼休みに仲良く元気に校庭で遊んだり、クラス遊び(ハッピータイム)を工夫したりするよう指導する。 ② 縦割り清掃や児童会活動を通して、児童相互に協力し合い、互いの良さを認め合えるような機会を設ける。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88.4%であり、目標数値を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度、校庭での安全な過ごし方を学級活動で話し合わせたり、校庭の使い方を見直したりした。次年度も継続する。
	健康・体力	A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 各学級で休み時間の外遊び、さらに冬季の外遊びを推奨し、児童の意識を喚起する。 ② 運動委員会によるイベントを企画・実施し、運動の楽しさを体験させる。 ③ 楽しく遊んだり運動したりするために、校庭での遊び方・使い方を児童に考えさせ指導する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が95.8%、児童の肯定的回答86.7%と昨年よりも更に向上した。目標数値を十分達成できた。 【次年度の方針】 ・児童が楽しく遊べるように、今年度、校庭の使い方を見直した。それらを守らせて楽しく安全に、外遊びができるよう次年度継続して指導していく。

	学 習	A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 給食だより・保健だより等の発行や学級活動をとおして、食育の大切さ・健康の大切さを児童に指導する。 ② 授業参観や土曜授業等で食育や健康に関する授業を行い、保護者に啓発する。 ③ マナーに関する事やバランス良く食べることの大切さなどを伝える適切な給食指導を行う。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 100%と高水準に達した。児童の肯定的回答も、89.2%と昨年度比より 9.1%向上した。保護者の肯定的回答も 77.6%と昨年度比より 11.8%と大幅に向上した。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。今後も授業参観や土曜授業で授業公開、給食委員会の活動等による、保護者への啓発は必要である。
		B3 体力づくりをすすめる。 【数値指標】 独自アンケートの「自分は運動会や持久走記録会、水泳や縄跳び検定に進んで取組運動している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 体力テストの結果を踏まえ、体育的行事のための長期練習や検定カードを活用した水泳、なわとび等の各種検定を通して、個の技量に応じて取組む態度を養う。 ② スポーツの外部指導者による授業を各学年が積極的に活用する。	B	【達成状況】 ・教職員 100%であり、保護者・地域・児童のすべてにおいて、目標数値を達成できた。見直された各種検定カードを活用し、児童が意欲的に取り組めた。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。更に体力向上を図るため、各学年がスポーツの外部指導者による授業を実践する。
		A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 発達段階に応じ、授業中における学び合い活動の場を意図的に設定し、思考力・表現力の伸長を図る。 ② 保護者向け「家庭学習のすすめ」や児童向け「自主学習メニュー」を配付し、家庭学習にも積極的に取り組めるようにする。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 95.8%と昨年同様高水準となり、目標値に十分達した。 【次年度の方針】 ・さらに授業改善を図り、主体的・対話的で深い学びを引き出していく。 ・今後も、保護者との連携を密にし、家庭でも自発的に学ぶ児童を育てていく。
		A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 本校の「学習のやくそく」や「よい子のやくそく」を柱とし、基本的な学習態度の育成について、各学級での指導を徹底していく。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が 95.8%と高い結果となった。 【次年度の方針】 ・今後も、学級経営や児童指導と連携を取り、学びに向かう集団作りをしていく。

	B4 読書が好きな心豊かな児童の育成に努める。 【数値指標】 独自アンケート「自分は本を読むことが好きである」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 図書室の活用はもちろん、週1回朝の読み聞かせ・週1回の朝の読書や外部人材の活用を通して、読書指導や言語環境の充実を図る。	C・A	【達成状況】 - 児童の肯定的回答が83.9%と目標値を上回った。 【次年度の方針】 - 情報交換や意見交流の方法を工夫し、読み聞かせボランティアの意識向上を図る。 - 読書や読み聞かせの意義を見直し、高学年の読み聞かせの回数を減らして自立読みの時間を増やしたり、高学年向けの選書を慎重にしたりする。 - 授業時数の増える1年生向けに、読み聞かせボランティアを中心とした外部人材の活用を工夫していく。そのために、地域協議会と連携し、積極的に呼びかけていく。 - 朝読の時間をしっかり確保できるよう、始まりの時間厳守や早めの図書の準備について今度も指導していく。
	B5 地域、企業、保護者、宇大VT等と連携した教育活動の実践に努める 【数値指標】 独自アンケート「自分は、地域の人や企業の人、保護者ボランティアの人などに協力してもらいながら学習することは楽しい」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 街の先生（地域人材）、企業の人材、保護者ボランティア等と連携した教育活動の実践を行う。 ② 成果があった連携事業については「地域連携年間指導計画」に記録し、継続的に実施できるようにする。	C・A	【達成状況】 - 児童の肯定的回答が88%と目標値を上回った。 【次年度の方針】 - 宇大ボランティアを低学年のお世話にとどまらず、高学年の学習指導の補充や田西ゼミの補助として活用する。 - 保護者ボランティアを活用するためのガイドラインを明確に示し、地域協議会と連携をし、学習や行事等で積極的に活用できるようにしていく。 - 外部講師を招く学習活動が多く組み込まれている。活動ありきになっていないかを見極め、今年度中に成果と課題を残し次年度の活用の有無について精査できるようにしておく。
	A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値目標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」⇒地域・保護者の肯定的回答80%以上	① 家庭や地域との連携を深め、ボランティア活動や地域行事への参加を呼びかける。	A	【達成状況】 - 地域の肯定的回答は、80%以上だったが、保護者は、60%以下だった。保護者の意識を高めていく必要がある。 【次年度の方針】 - 地域住民と保護者の間に意識の差があるので、授業参観や学年だより等、折に触れ地域の行事を取り上げ、知らせていく。 - 学校行事や校外学習などでは、ボランティア活動に対する意識を高めるために、ゴミ拾いなどの活動を行っていく。

本校の特色・課題等	B6 心の教育の充実を図る 【数値指標】 独自アンケート「自分はクラスの友達に優しく親切にしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 道徳教育や異学年交流、飼育栽培活動などをおして、心の教育を推進する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は90%以上であり、目標数値は十分達成できている。 【次年度の方針】 ・飼育栽培活動を今後も継続し取り組む。 ・授業参観において道徳科の授業を行い、家庭との連携・協力のもと、児童の豊かな心の育成を図る。 ・学級内だけでなく、授業や縦割り班遊び等において、異学年との交流の場を積極的に設け、時と場、相手に応じた人との関わり方について指導する。
------------------	---	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

昨年度に引き続き、全体的に良い結果が出ている。今後も家庭・地域の理解を得ながら、連携・協力し継続して行いたい。

- ・A4「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導をしている」については、保護者の肯定的回答が5ポイント上昇し、地域住民の肯定的回答は100%と高評価を得た。教職員が、一丸となって取り組んだ成果と考えられる。
- ・A13「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」A14「児童は、時と場に応じた言葉遣いをしている」については、保護者と地域住民の肯定的回答が下がっている。来年度の重点課題に掲げ、家庭や地域住民と協力して取り組んでいく必要がある。
- ・A16「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」については、保護者の肯定的回答が10ポイント以上上がった。本校の食育指導や、地域学校園で取り組んでいる食育指導が浸透した結果だと思われる。今後も継続したい。

6 学校関係者評価

子どもへのいじめや虐待が問題になっているが、大人から子ども達にあいさつや声掛けをすることで、地域での見守りを行っていききたい。地域協議会や中学生と一緒に行うあいさつ運動は、毎年続けていききたい。

「もちつき」や「夏祭り」などの楽しい行事もあるので、協力しながら行っていくと同時に、子ども達への声掛けも進んで行っていききたい。

保護者や地域のボランティアについても、参加を募るなどして活性化を図っていききたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○あいさつ運動については、地域学校園とも協力し合って、今後も継続し、あいさつが自然にできるように1年間を通して学校全体で呼びかけていきたい。

- ・言葉遣いについてもあいさつと同様、学校全体の合言葉にして、教職員が一丸となって取り組んでいきたい。
- ・学習面においては、「たにしタイム」の成果を生かしながら、児童が主体的で対話的な深い学びにつながるような授業の実践に努めていきたい。